

原安第1号
令和6年4月2日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査結果の概要について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2024年3月28日付け 立コミ本第425号〕・・・別添1

2 2024年度 玄海原子力発電所 新燃料等の輸送計画について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2024年3月29日付け 立コミ本第431号〕・・・別添2

3 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2024年3月29日付け 立コミ本第437号〕・・・別添3



別添 1

立コミ本第425号

2024年3月28日

佐賀県知事
山口祥義様

九州電力株式会社
代表取締役 池辺和
社長執行役員

玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査結果の概要について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所3号機は、2024年2月29日、第17回定期検査を完了し、通常運転に復帰しました。（2024年2月29日付け立コミ本第400号にてご連絡済み）

つきましては、本検査期間中に実施した点検検査結果を取りまとめましたので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、別紙のとおりご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査結果の概要

1. 経 過

2023年 11月10日 発電停止
2024年 1月31日 臨 界
2月 2日 発電再開
2月29日 通常運転復帰

2. 主要検査及び点検結果

(1) 原子炉設備

- ① 原子炉本体、一次冷却系統配管などの供用期間中検査を実施した結果、漏えい、割れなどの異常は認められなかった。
- ② 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ③ 燃料集合体の外観検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ④ 加圧器安全弁検査、加圧器逃がし弁検査、原子炉格納容器漏えい率検査などを実施した結果、異常は認められなかった。
- ⑤ 非常用炉心冷却系の機能検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ⑥ 原子炉格納容器隔離弁検査、その他主要弁開閉検査などを実施した結果、異常は認められなかった。
- ⑦ その他機器配管弁類などの点検を実施した結果、異常は認められなかった。

(2) タービン設備

- ① タービン車室の開放点検、付属設備の分解点検を実施した結果、異常は認められなかった。
- ② 主蒸気安全弁検査、主蒸気逃がし弁検査、その他主要弁開閉検査などを実施した結果、異常は認められなかった。
- ③ その他機器配管弁類などの点検を実施した結果、異常は認められなかった。

(3) 電気設備

- ① 非常用予備発電装置機能検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ② その他発電機本体、励磁機、変圧器、しゃ断器などの点検を実施した結果、異常は認められなかった。

(4) 制御設備

- ① 安全保護系及び放射線監視装置の機能検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ② 制御棒駆動系機能検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ③ 制御用空気圧縮系機能検査を実施した結果、異常は認められなかった。
- ④ その他核計装装置、一次系制御装置等の検査を実施した結果、異常は認められなかった。

(5) 放射性廃棄物貯蔵、処理設備

- ① 放射性廃棄物貯蔵、処理設備の検査を実施した結果、異常は認められなかった。

(6) プラント総合

- ① 定格熱出力一定運転において、総合負荷性能検査を実施した結果、各設備の運転状態に異常はなく安定した運転ができることを確認した。

3. 定期事業者検査結果

付表一 1 「玄海原子力発電所 3号機第 17回定期事業者検査項目」に示す定期事業者検査を実施し、問題なかった。

4. 定期検査期間中の線量の状況

定期検査期間中における総線量は、予想線量約0.57人・Svに対し、作業件名毎に線量管理等を行った結果、実績値は0.56人・Svであった。

また、内部被ばくはなかった。

(1) 定期検査期間中の放射線業務従事者の線量

区分	放射線業務従事者数(人)	総線量(人・Sv)	平均線量(mSv)	最大線量(mSv)
社員	437	0.01	0.03	1.04
社員外	2,037	0.55	0.27	5.07
合計	2,474	0.56	0.23	—

(注) 1. 測定器：警報付ポケット線量計

2. 期間：2023年11月10日～2024年2月29日

$$3. \text{ 平均線量} = \frac{\text{総線量}}{\text{放射線業務従事者数}}$$

(2) 定期検査期間中の放射線業務従事者の線量分布

区分	5mSv以下	5mSvを超え 10mSv以下	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下	25mSvを超え 50mSv以下	50mSvを超える	合計
社員	437	0	0	0	0	0	0	437
社員外	2,036	1	0	0	0	0	0	2,037
合計	2,473	1	0	0	0	0	0	2,474

(注) 1. 測定器：警報付ポケット線量計

2. 期間：2023年11月10日～2024年2月29日

(3) 定期検査期間中の放射線業務従事者の内部被ばく

区分	測定対象延人数(人)	結果
社員	659	異常なし
社員外	3,307	異常なし
合計	3,966	—

(注) 1. 測定器：ホールボディカウンタ

2. 期間：2023年11月10日～2024年2月29日

3. 1号機、2号機及び4号機の放射線業務従事者を含む

5. 定期検査期間中に実施した主な工事 (各種工事の概要は添付資料参照)

(1) 燃料の取替え

燃料集合体 193 体のうち 60 体を新燃料に取り替えた。

(2) 原子炉容器上部ふた取替工事 (概要①)

更なる信頼性向上として、原子炉容器上部ふたの管台材料を 600 ニッケル基合金から耐応力腐食割れに優れた 690 ニッケル基合金へ変更するとともに、ふた構造を二分割構造から一体構造へ変更するなど最新設計の原子炉容器上部ふたへの取替えを実施した。

(3) 抽出オリフィス廻り弁・配管取替工事 (概要②)

抽出オリフィス廻りに使用している差込み溶接継手は、突き合わせ溶接継手と比較すると応力集中を受けやすい形状であるため、信頼性向上のため、突き合わせ溶接継手へ変更した。

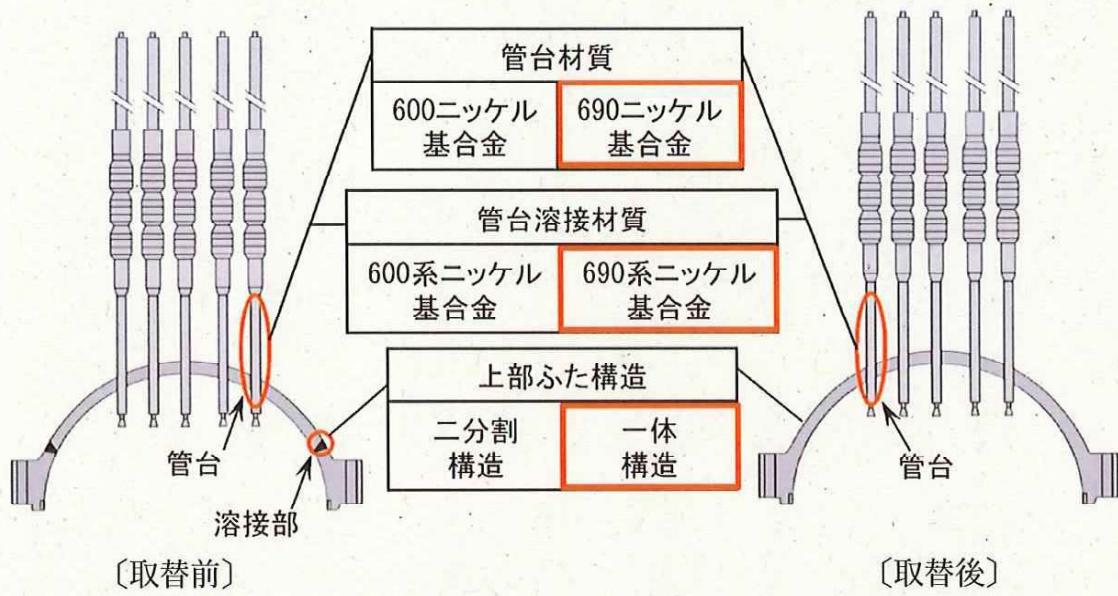
以上

主な工事の概要

(添付資料)

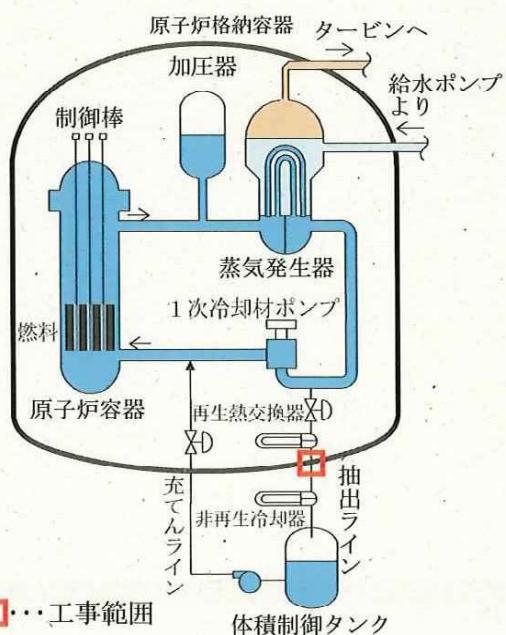
① 原子炉容器上部ふた取替工事

更なる信頼性向上として、原子炉容器上部ふたの管台材料を 600 ニッケル基合金から耐応力腐食割れに優れた 690 ニッケル基合金へ変更するとともに、ふた構造を二分割構造から一体構造へ変更するなど最新設計の原子炉容器上部ふたへの取替えを実施した。

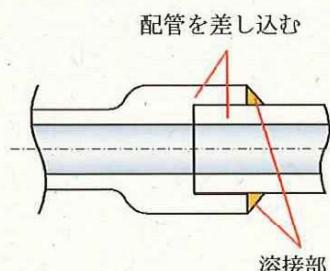


② 抽出オリフィス廻り弁・配管取替工事

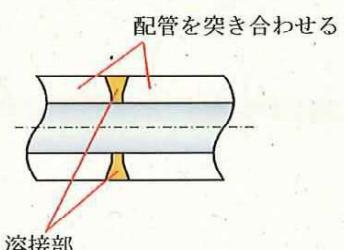
抽出オリフィス廻りに使用している差込み溶接継手は、突き合わせ溶接継手と比較すると応力集中を受けやすい形状であるため、信頼性向上のため、突き合わせ溶接継手へ変更した。



○差込み溶接：片方の溶接端をソケット状にし、もう片方の配管を差込み溶接する方法



○突き合わせ溶接：両方の溶接端をつき合わせ、この部分を溶接して接続する方法



○抽出ライン：1次冷却材の水質や体積を制御するために、1次冷却材を一部抽出する系統

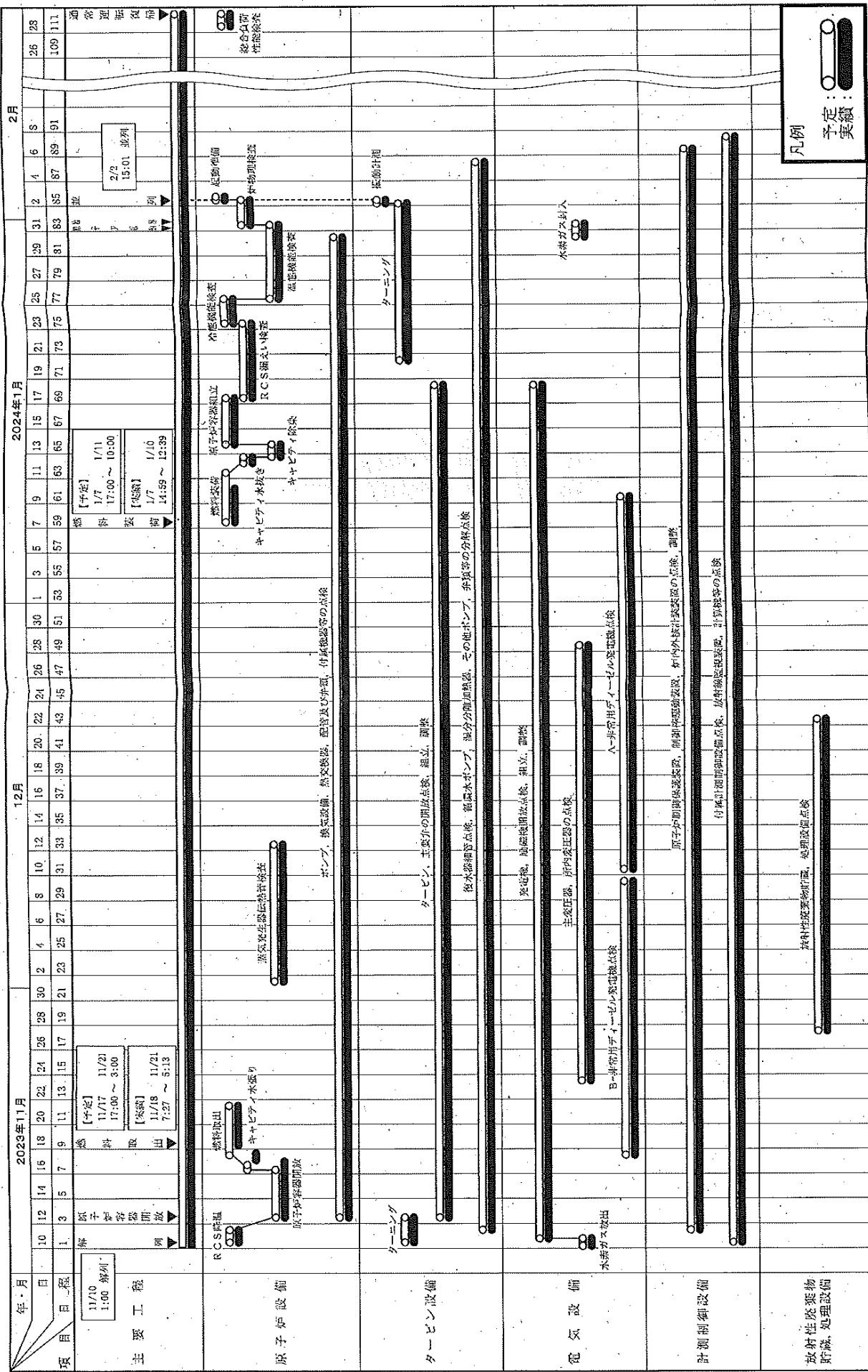
○オリフィス：抽出ラインの流量を調整するための設備

第17回定期事業者検査項目
機3号海玄

No.	要項番号	主な取扱い事項の概要	記考	No.	要項番号	主な取扱い事項の概要	記考	No.	要項番号	主な取扱い事項の概要	記考		
1	1	クラス1機器の期間中検査		51-1	原子炉機器部品交換部会計基盤検査		88-1	1次系真空吸出検査	※1	66	定期検査結果名	定期検査結果名	
2	2	燃焼炉体外観検査		51-2	原子炉機器部品交換部会計基盤検査	※1	68-1	1次系真空吸出検査	※1	66	定期検査結果名	定期検査結果名	
3	3	燃焼炉体外観検査		51-3	原子炉機器部品交換部会計基盤検査	※1	68-2	1次系真空吸出検査	※1	96	定期検査結果名	定期検査結果名	
4	4	原子炉停止検査		53-1	非常用停電装置基盤検査 (ディーゼル発電機)		64	91	1次系真空吸出検査	※1	205-1	定期検査結果名	定期検査結果名
5	-5	クラス2機器の期間中検査		53-2	非常用停電装置基盤検査 (ディーゼル発電機)		65	92	1次系真空吸出検査	※1	205-2	定期検査結果名	定期検査結果名
6	6	原子炉起動部品外観検査		61	非常用停電装置基盤検査 (ディーゼル発電機)		66	93	1次系真空吸出検査	※1	205-3	定期検査結果名	定期検査結果名
7	7	加圧送水栓部品検査		67	94	1次系真空吸出検査 (後述の分析)	※1	97	1次系真空吸出検査	※1	205-4	定期検査結果名	定期検査結果名
8	8	加圧送水栓漏え検査		68	95-1	燃焼炉内面検査 (炉内・インテラクタ検査)	※1	98	1次系真空吸出検査	※1	205-5	定期検査結果名	定期検査結果名
9	9	加圧送水栓漏え検査		69	97-1	燃焼炉内面検査 (炉内化成酸素)	※1	99	1次系真空吸出検査	※1	205-6	定期検査結果名	定期検査結果名
10	10	加圧送水栓漏え検査		70	99	タマス2号 (原子炉格納建屋内) 施工検査	※1	100	1次系真空吸出検査	※1	205-7	定期検査結果名	定期検査結果名
11	11	加圧送水栓漏え検査		71	103-1	新規健全性検査	※1	101	1次系真空吸出検査	※1	205-8	定期検査結果名	定期検査結果名
12	12	加圧送水栓漏え検査		72	103-2	新規健全性検査	※1	102	1次系真空吸出検査	※1	205-9	定期検査結果名	定期検査結果名
13	13	加圧送水栓漏え検査		73	104-1	新規健全性検査	※1	103	1次系真空吸出検査	※1	205-10	定期検査結果名	定期検査結果名
14	14	原子炉地盤外周機器検査		74	105	ブロムゼニク風速検査	※1	104	1次系真空吸出検査	※1	205-11	定期検査結果名	定期検査結果名
15	15	原子炉地盤外周機器検査		75	106	新規健全性検査	※1	105	1次系真空吸出検査	※1	205-12	定期検査結果名	定期検査結果名
16	16	原子炉地盤外周機器検査		76	107	新規健全性検査	※1	106	1次系真空吸出検査	※1	205-13	定期検査結果名	定期検査結果名
17	17	原子炉地盤外周機器検査	※1	77	108	新規健全性検査	※1	107	1次系真空吸出検査	※1	205-14	定期検査結果名	定期検査結果名
18	18	原子炉地盤外周機器検査		78	109	新規健全性検査	※1	108	1次系真空吸出検査	※1	205-15	定期検査結果名	定期検査結果名
19	19	原子炉地盤外周機器検査		79	110	新規健全性検査	※1	109	1次系真空吸出検査	※1	205-16	定期検査結果名	定期検査結果名
20	20	原子炉地盤外周機器検査		80	111	新規健全性検査	※1	110	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-17	定期検査結果名	定期検査結果名
21	21	生産性がしない検査		81	112-1	計測開閉系検査	※1	111	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-18	定期検査結果名	定期検査結果名
22	22	生産性開閉系検査		82	112-2	計測開閉系検査	※1	112	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-19	定期検査結果名	定期検査結果名
23	23	計測開閉系検査		83	113	花合シナーロック検査	※1	113	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-20	定期検査結果名	定期検査結果名
24	24	花合シナーロック検査		84	114	レステレインツ検査	※1	114	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-21	定期検査結果名	定期検査結果名
25	25	花合シナーロック検査		85	115	花合シナーロック検査	※1	115	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-22	定期検査結果名	定期検査結果名
26	26	花合シナーロック検査		86	116	花合シナーロック検査	※1	116	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-23	定期検査結果名	定期検査結果名
27	27	花合シナーロック検査		87	117	花合シナーロック検査	※1	117	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-24	定期検査結果名	定期検査結果名
28	28	花合シナーロック検査		88	118	花合シナーロック検査	※1	118	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-25	定期検査結果名	定期検査結果名
29	29	花合シナーロック検査		89	119	花合シナーロック検査	※1	119	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-26	定期検査結果名	定期検査結果名
30	30	花合シナーロック検査		90	120	花合シナーロック検査	※1	120	1次系真空シールドチューブ体積検査	※1	205-27	定期検査結果名	定期検査結果名
31	31	アニアス炉底部材交換部会計基盤検査		91	121	2次系冷却水吸出(出力)	※1	92	1次系真空吸出検査	※1	226-1	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
32	32	中央冷却塔外部機器検査		92	122	2次系冷却水吸出(出力)	※1	93	1次系真空吸出検査	※1	226-2	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
33	33	中央冷却塔外部機器検査		93	123	2次系冷却水吸出(出力)	※1	94	1次系真空吸出検査	※1	226-3	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
34	34	中央冷却塔外部機器検査		95	124	2次系冷却水吸出(出力)	※1	95	1次系真空吸出検査	※1	226-4	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
35	35	中央冷却塔外部機器検査		96	125	2次系冷却水吸出(出力)	※1	96	1次系真空吸出検査	※1	226-5	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
36	36	中央冷却塔外部機器検査		97	126	2次系冷却水吸出(出力)	※1	97	1次系真空吸出検査	※1	226-6	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
37	37	中央冷却塔外部機器検査		98	127	2次系冷却水吸出(出力)	※1	98	1次系真空吸出検査	※1	226-7	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
38	38	中央冷却塔外部機器検査		99	128	2次系冷却水吸出(出力)	※1	100	1次系真空吸出検査	※1	226-8	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
39	39	中央冷却塔外部機器検査		101	129	2次系冷却水吸出(出力)	※1	102	1次系真空吸出検査	※1	226-9	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
40	40	中央冷却塔外部機器検査		103	130	2次系冷却水吸出(出力)	※1	104	1次系真空吸出検査	※1	226-10	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
41	41	中央冷却塔外部機器検査		105	131	2次系冷却水吸出(出力)	※1	106	1次系真空吸出検査	※1	226-11	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
42	42	中央冷却塔外部機器検査		107	132	2次系冷却水吸出(出力)	※1	108	1次系真空吸出検査	※1	226-12	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
43	43	中央冷却塔外部機器検査		109	133	2次系冷却水吸出(出力)	※1	110	1次系真空吸出検査	※1	226-13	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
44	44	中央冷却塔外部機器検査		111	134	2次系冷却水吸出(出力)	※1	112	1次系真空吸出検査	※1	226-14	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
45	45	中央冷却塔外部機器検査		113	135	2次系冷却水吸出(出力)	※1	114	1次系真空吸出検査	※1	226-15	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
46	46	中央冷却塔外部機器検査		115	136	2次系冷却水吸出(出力)	※1	116	1次系真空吸出検査	※1	226-16	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
47	47	中央冷却塔外部機器検査		117	137	2次系冷却水吸出(出力)	※1	118	1次系真空吸出検査	※1	226-17	可燃性ガス漏れ検査	可燃性ガス漏れ検査
48	48	原子炉地盤外周機器検査		119	138	2次系冷却水吸出(出力)	※1	120	1次系真空吸出検査	※1	226-18	定期検査結果名	定期検査結果名
49	49	原子炉地盤外周機器検査		121	139	2次系冷却水吸出(出力)	※1	122	1次系真空吸出検査	※1	226-19	定期検査結果名	定期検査結果名
50	50	原子炉地盤外周機器検査		123	140	2次系冷却水吸出(出力)	※1	124	1次系真空吸出検査	※1	226-20	定期検査結果名	定期検査結果名

玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査（定期事業者検査）工程表

參考資料



別添 2

立コミ本第431号

2024年3月29日

佐賀県知事
山口祥義様

九州電力株式会社
代表取締役 池辺和
社長執行役員

2024年度 玄海原子力発電所 新燃料等の輸送計画について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、2024年度玄海原子力発電所の新燃料等の輸送計画について取りまとめました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、別紙のとおりご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(別紙)

2024年度 玄海原子力発電所 新燃料等の輸送計画について

1. 新燃料

(1) 受入

号機	輸送数量	輸送時期	燃料加工会社
3号機	56 体	第4四半期	三菱原子燃料㈱

(2) 搬出

なし

2. 使用済燃料（搬出）

なし

3. 低レベル放射性廃棄物（搬出）

発電所名	輸送数量	輸送時期	搬出先
玄海	輸送容器 215 個 (ドラム缶 1,720 本)	2025年2月	日本原燃 低レベル放射性廃棄物埋設センター

注) 現時点での計画であり、今後変更になる可能性があります。

以上

別添 3

立コミ本第437号
2024年3月29日

佐賀県知事
山口祥義様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員 池辺和

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬具

報告書内容

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月報) |
| 2. 発電実績 | (月報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月報) |
| 5. 環境放射能の測定結果 | (月報) |
| モニタリングポスト | |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月報) |
| 7. 発電所職員等に対する教育訓練の実施計画 | (年報) |

以上

環境保全測定報告書

2024年2月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分(%)	玄海1・2号機	玄海3・4号機
	0.06	0.06

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海1・2号機				玄海3・4号機					
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量(mg/l)*1	浮遊物質量(mg/l)*2	油分(mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量(mg/l)*1	浮遊物質量(mg/l)*2	油分(mg/l)*2
2月7日	7.6	0.6	—	—	2月7日	7.0	1.0	—	—
2月14日	7.7	0.7	—	—	2月14日	7.2	1.3	—	—
2月21日	7.5	1.0	3.9	検出せず	2月21日	7.3	1.3	0.0	検出せず
2月28日	7.5	0.9	—	—	2月28日	7.4	1.5	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度(℃)	放水口の温度(℃)	放水の残留塩素(mg/l)	取水口の温度(℃)	放水口の温度(℃)	放水の残留塩素(mg/l)	取水口の温度(℃)	放水口の温度(℃)	放水の残留塩素(mg/l)
2月9日 ^{*1}	13.5	13.6	検出せず	13.7	20.7	検出せず	13.7	20.6	検出せず
2月20日	14.4	14.4	検出せず	14.4	21.3	検出せず	14.4	21.3	検出せず
2月29日	13.3	13.5	検出せず	13.6	20.4	検出せず	13.6	20.4	検出せず

*1 10日が休日のため、9日の測定結果を報告。

発電実績

2024年2月分

九州電力株式会社

号機		※1 1号機	※2 2号機	3号機	4号機	発電所合計
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000
発電日数	日	—	—	28	29	29
発電時間数	時間	—	—	657	696	696
電力量	発電端	10 ³ kWh	—	744,183	830,900	1,575,083
	所内消費	10 ³ kWh	1,314	860	32,977	31,544
	送電端	10 ³ kWh	-1,314	-860	711,206	799,356
最大電力	kW	—	—	1,206,000	1,197,000	2,401,000
平均最大電力	kW	—	—	1,098,931	1,195,103	2,293,379
平均電力	kW	—	—	1,069,228	1,193,822	2,263,050
負荷率	%	—	—	88.7	99.7	94.3
利用率	%	—	—	90.6	101.2	95.9

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2024年 2月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度	炉内そうち入量		月末在庫量 (炉内そうち入用)		月末機荷量		炉外取出量		月末在庫量 (拠出用)		熱消費量		核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン (kg)	ウラン 23.5 の量 (kg)	ウラン 23.5 の量 (kg)	ウラン 23.5 の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン 23.5 の量 (kg)							
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) () 内は燃料集合体数を示す。
2015年4月27日通話終了。

核燃料物質の消費状況

2024年 2月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度	炉内そう入量		月末在庫量 (炉内そうち入用)		月末装荷量		炉外取出量		月末在庫量 (払出用)		熱消費量		核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン 235 の 量 (kg)							
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,769	822
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,880	754
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,261	1,168
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172,910	2,744
												1,568	0

(注) () 内は燃料集合体数を示す。
2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費費状況

2024 年 2

九州電力株式会社
(亥海原子力発電所3号機)

(注) () 内は燃料集団体数を示す。

* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2024年 2月分
九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度(%)	炉内そう入量		月末在庫量(炉内そう入用)		月末装荷量		炉外取出量		月末在庫量(派出用)		核燃料物質消費量(kg)
	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	燃焼度	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	ウランの量(kg)	
2.00	0	0	453	4	0	0	0	0	0	0	28,765
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186
4.10	0	0	88,136	2,141	84,445	1,534	766	28,276	0	0	339,817
合計	0	0	88,589	2,145	84,445	1,534	766	14,870	0	0	396,768
(注) () 内は燃料集合体数を示す。											917
											4,402
											8,519
											104

放射性廃棄物の管理状況

2024年2月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
154 (-1, 925)	38, 737

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年2月分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年2月分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年2月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

環境放射能測定結果

(2024 年 2 月分)

2024 年 3 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2024 年 2 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	37	25	29	16	35	24	26
2	26	24	25	17	25	24	25
3	45	24	30	18	34	25	25
4	35	25	26	19	46	25	30
5	46	24	35	20	40	25	28
6	27	24	24	21	39	26	31
7	29	24	25	22	38	26	31
8	30	24	25	23	37	24	29
9	25	24	24	24	27	24	24
10	25	24	24	25	35	23	26
11	25	24	25	26	27	24	24
12	24	24	24	27	24	24	24
13	25	24	24	28	27	24	24
14	27	24	25	29	43	24	32
15	38	24	25	30	—	—	—
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 2 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	33	22	26	16	30	21	23
2	24	22	22	17	23	22	22
3	40	22	27	18	32	22	23
4	31	22	23	19	43	23	27
5	42	21	31	20	36	23	25
6	25	21	22	21	35	23	28
7	26	22	23	22	33	23	27
8	26	22	23	23	32	22	26
9	23	22	22	24	24	21	22
10	23	22	22	25	32	21	24
11	23	22	22	26	24	21	22
12	22	22	22	27	22	21	22
13	23	22	22	28	24	22	22
14	25	22	22	29	39	22	29
15	32	22	23	30	—	—	—
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 2 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	35	24	27	16	32	23	24
2	25	23	24	17	24	23	23
3	42	23	29	18	34	24	24
4	34	23	25	19	47	24	29
5	44	23	33	20	38	24	26
6	25	23	23	21	37	24	29
7	28	23	24	22	36	24	29
8	27	23	24	23	35	23	27
9	24	23	24	24	26	23	23
10	24	23	24	25	34	22	25
11	24	23	24	26	26	22	23
12	24	23	23	27	23	23	23
13	24	23	23	28	26	23	23
14	27	23	24	29	40	23	31
15	34	23	24	30	—	—	—
				31	—	—	—

玄海 1 号機 廃止措置の実施状況
(2024年 2月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工 (7月13日)									
除染準備作業										
装置設置										
除染										
片付け（装置撤去）										
(2)汚染状況の調査										
線量当量率測定										
試料採取										
輸送・分析・評価				輸送・分析			評価			
(3)汚染のない設備の解体撤去	高压給水加熱器 混分分離加熱器 低圧給水加熱器 混分分離加熱器 グランド蒸気復水器 タービン建屋内機器保泥材 復水ボースタポンプ 復水脱脂装置 復水フィルタ スチームコンバータ SGB熱回収装置 廻苏搬送装置 復水脱脂装置（中和槽・排水槽排水設備） パケット吊り装置 脱気器／混分分離器逃し弁 スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ								主／所内換気器 循環水泵ポンプ ロータリースクリーン	
(4)使用済燃料搬出							搬出計画検討			
(5)新燃料搬出				輸送容器への取扱方法検討・搬出準備						

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染
終了 (2017.7.13～2018.12.11)

(2) 汚染状況の調査
終了 (2017.8.29～2022.3.18)

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	脱気器／混分分離器逃し弁、スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中

【解体撤去物の状況】(注3) (単位:トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1025.4	0	1025.4	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	99.4	0	99.4	0

(4) 燃料搬出 (注4)
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海 1 号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海 1 号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	3	776	0	0	776
均質固化体	0	22	0	0	22
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	3	754	0	0	754

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	累計
			(解体工事準備期間中) [2017.4.19～2024.2.29] (人・mSv)
0.01	0.00	0.01	200.51

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m^3)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約 $5.2\ m^3$ 】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m^3)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m^3)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、2000ドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、2000ドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況 (2024年 2月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査						
線量当量率測定	[■]	[■]				
試料採取		[■]				
輸送・分析・評価			[■] 輸送・分析	[■] 評価		
	▼着工(6月29日)					
	A,B湿分分離加熱器 RO装置		タービン建屋内吸器保温材		高圧給水加熱器 C,D湿分分離加熱器 脱気器／湿分分離器送り弁	主／所内変圧器 循環水ポンプ ロータリースクリー
	油計量タンク				スチームコンパータ 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備含む） 復水フィルタ S G B D熱回収装置	
	座芥搬送装置 パケット吊り装置		復水器真空ポンプ			
				薬品ヤード	循環水処理設備 屋外用空気压缩機 液体空素供給装置	
(2)汚染のない設備の解体撤去						
(3)使用済燃料搬出				搬出計画検討		
(4)新燃料搬出						
	輸送容器への収納方法 検討・搬出準備					

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

終了 (2021.7.1~2023.9.22)

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	<p>高压給水加熱器、C,D 湿分分離加熱器、脱気器／湿分分離器逃し弁解体撤去工事 • 2023.7.3～実施中</p> <p>スチームコンバータ、復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備含む）、復水フィルタ、SGBD 熱回収装置解体撤去工事 • 2023.7.3～実施中</p> <p>補給水処理設備、屋外用空気圧縮機、液体窒素供給装置解体撤去工事 • 2024.1.29～実施中</p>

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位:トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	216.1	934.8	216.1	934.8	0
コンクリート類	0.0	54.0	0.0	54.0	0
その他	2.8	154.1	2.8	154.1	0

(3) 燃料搬出(注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	254
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	168
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	28
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	84
		搬出量(前月末まで)	84
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂(m ³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物(本)	5	388	0	16	372
均質固化体	0	19	0	0	19
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	5	369	0	16	353

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1～2024.2.29] (人・mSv)
			0.10
0.10	0.00	0.05	11.31

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2020.3.18）以降の2号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

発電所職員等に対する教育訓練の実施計画
(2024年度計画及び2023年度実績)

I. 玄海原子力発電所九電社員

(1 / 4)

区分	場所	項目	内 容	対象者	2023 年度 実績 (人數)	2024年度 計画 (人數)												
						1 / 4			2 / 4			3 / 4			4 / 4			計
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
職場	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）	プラント管理課員・発電第二課員	2				2									6
		一般コース	運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）						3	3			3					9
			上級コース								4		4		4			12
		監督者コース	監督者の指揮命令、判断能力の訓練（講義及びシミュレータ訓練）			3	3	3	3	3	3	3	3	3				21
		実技試験コース	運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験（講義及びシミュレータ訓練）												3			3
外	メカニカル	保修技能研修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識 保修技術の習得	設備管理課員・保修第二課員														35
	品質管理研修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得																3
	日本原子力研究所	原子力基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得		技術系員													3
教育所	発電	保安規定教育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知	全 所 員 (所長は除く)														全所員 (所長は除く)
		放射線防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知		放射線業務従事者													放射線業務従事者
	電気	防災教育	防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚	全 所 員 (所長は除く)														全所員 (所長は除く)
		安全協定教育	安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等		全 所 員													全所員
	消防訓練(防火・防災対応)	火災発生時、灾害等発生時に自衛消防組織による迅速な消火活動及び避難等が十分機能することの確認	全 所 員 (当直は除く)															全所員 (当直は除く)

区分	場所	項目	内 容	対象者	2023年度実績(人數)	2024年度 計画(人數)											
						1/4			2/4			3/4			4/4		
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
職場外教育所	電気設備	避難、救助訓練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全 所 員 (当直は除く)										↔			全所員 (当直は除く)
		原子力防災訓練	非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認											↔			全所員 (当直は除く)
		火災防護、内部溢水、火山影響等、その他自然災害対応教育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育											↔			全所員 (所長は除く)
		有毒ガス発生時の対応教育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)										↔			全所員 (所長は除く)
		通報連絡訓練	異常発生時等に社内外の関係先へ的確かつ迅速に通報連絡できることの確認									15	↔	15	↔		30
		危険物保安教育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚	関 係 者											↔		210
		アクシデントマネジメント教育	重大事故等及び大規模損壊発生における原子炉施設の保全のための活動に関する教育										↔				全所員 (所長は除く)
		要員養成教育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員・保修第二課員 発電第二課員													330
		安全作業及び品質管理教育												↔			370
		導入教育	新入社員教育 (発電所の概要及び従事者として必要な安全協定等の机上教育並びに実務教育)	新入社員全員									新入社員全員				—
			転入社員教育 (発電所の従事者として必要な保安規定、安全協定並びに品質保証等の机上教育)	転入社員全員									転入社員全員				—
			放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者に指定する者									放射線業務従事者に指定する者				—
職場内教育	電気設備	要員養成教育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者									技術系各課配属者全員				—
			緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課・発電第二課全員									発電第二課 当直員全員 1回/月				プラント管理課・発電第二課当直員全員

区分	場所	項目	内 容	対象者	2023年度実績(人数)	2024年度 計画 (人 数)													
						1 / 4			2 / 4			3 / 4			4 / 4			計	
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
職場外教育所	発電所	成立性確認訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、保修対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員														運転員、運転対応要員、保修対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員	
		重大事故等発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故等対策要員、緊急時対策本部要員、特重施設要員											↔			運転員、重大事故等対策要員、緊急時対策本部要員、特重施設要員	
		大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収集、的確な対応操作の選択及び緊急時対策本部要員指揮者等、特重施設要員及び専属自衛消防隊との連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員、専属自衛消防隊								↔						任意の緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員、専属自衛消防隊	
		アクシデントマネジメント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能しない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技術者、緊急時対策本部要員(指揮者等)、発電第二課長、保修第二課長他								↔	→					所長、原子炉主任技術者、緊急時対策本部要員(指揮者等)、発電第二課長、保修第二課長他	
		力量維持訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応できるように力量を維持するための訓練	保修対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等を除く)								都度							保修対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等を除く)
		緊急処置訓練(特重施設)	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における各種緊急事象の発生に対する模擬操作訓練及び処置の検討	特重施設要員								特重施設要員	1回／月						特重施設要員
		特重施設の操作に係る成立性確認訓練	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における特重施設による対応操作を確認する訓練	特重施設要員								↔			↔	↔			特重施設要員
		特定核燃料物質防護対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員								↔			↔	↔			全 所 員
		特定核燃料物質防護対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な情報連絡及び対応等の所要の措置を講ずることができるとの確認	関 係 者											↔				関 係 者
職場内教育																			

II. 協力会社玄海事業所従業員

(4/4)

区分	場所	項目	内 容	対象者	2023 年度 実績 (人數)	2024年度 計画 (人數)												
						1/4			2/4			3/4			4/4			計
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
協力会社への教育	発電所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	[玄海原子力発電所の管理職 安全衛生協議会加盟会社の責任者]							毎月	1回						毎回 50
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者及び作業責任者										↔				—
		消防訓練(防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の従業員					↔					↔				—